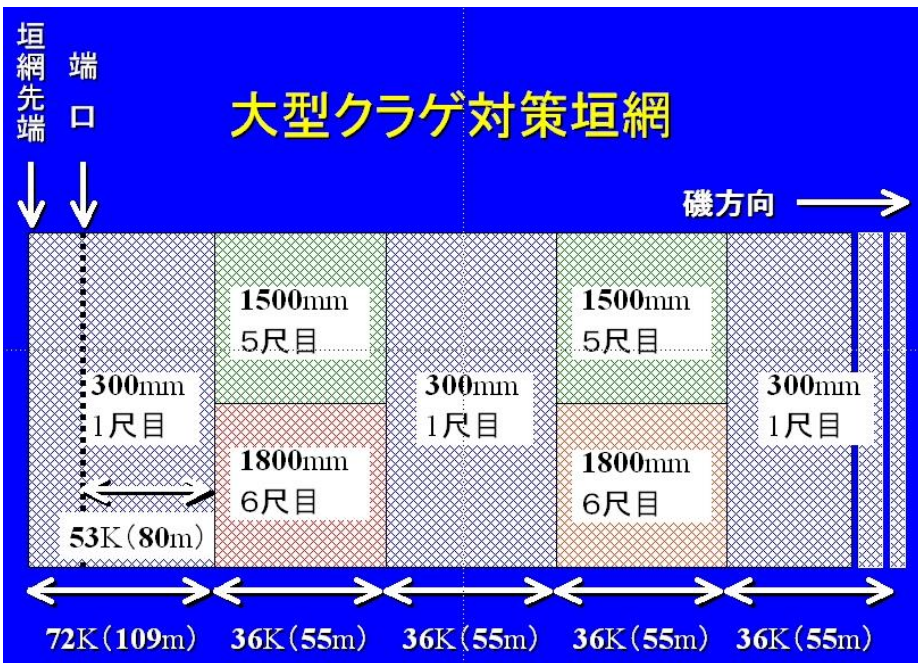


# JF定置1 バイパス網の大目化



# JF定置3 垣網の大目化



# 底曳網の改良

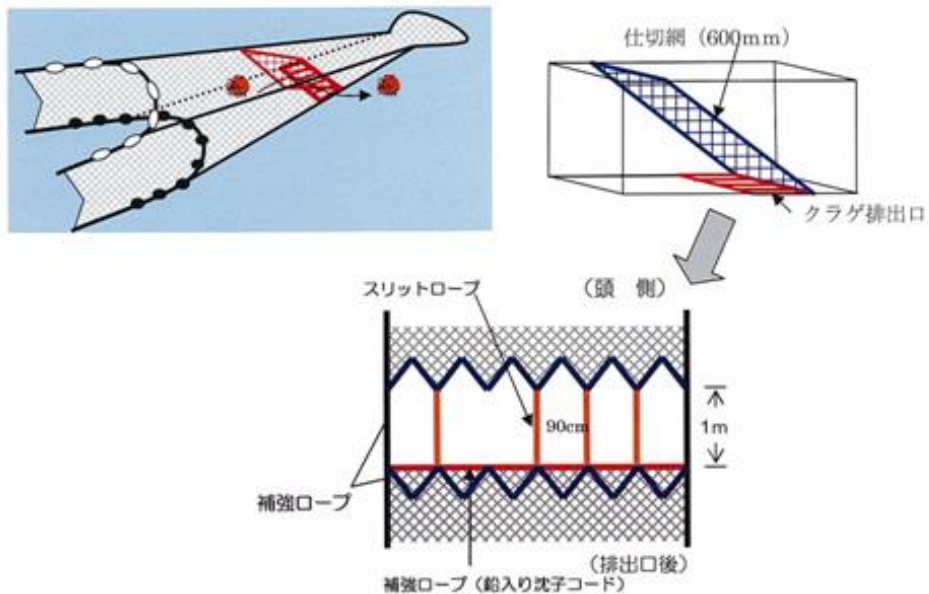


図1 底びき網の分離部の構造と下網に設けた排出口の形状

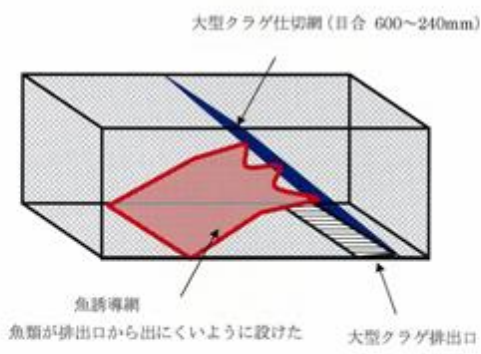
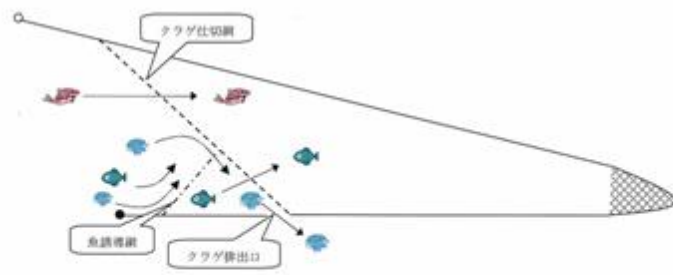
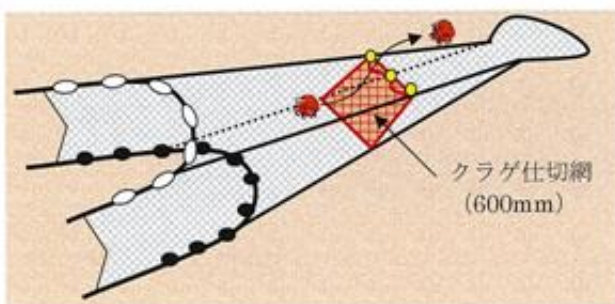


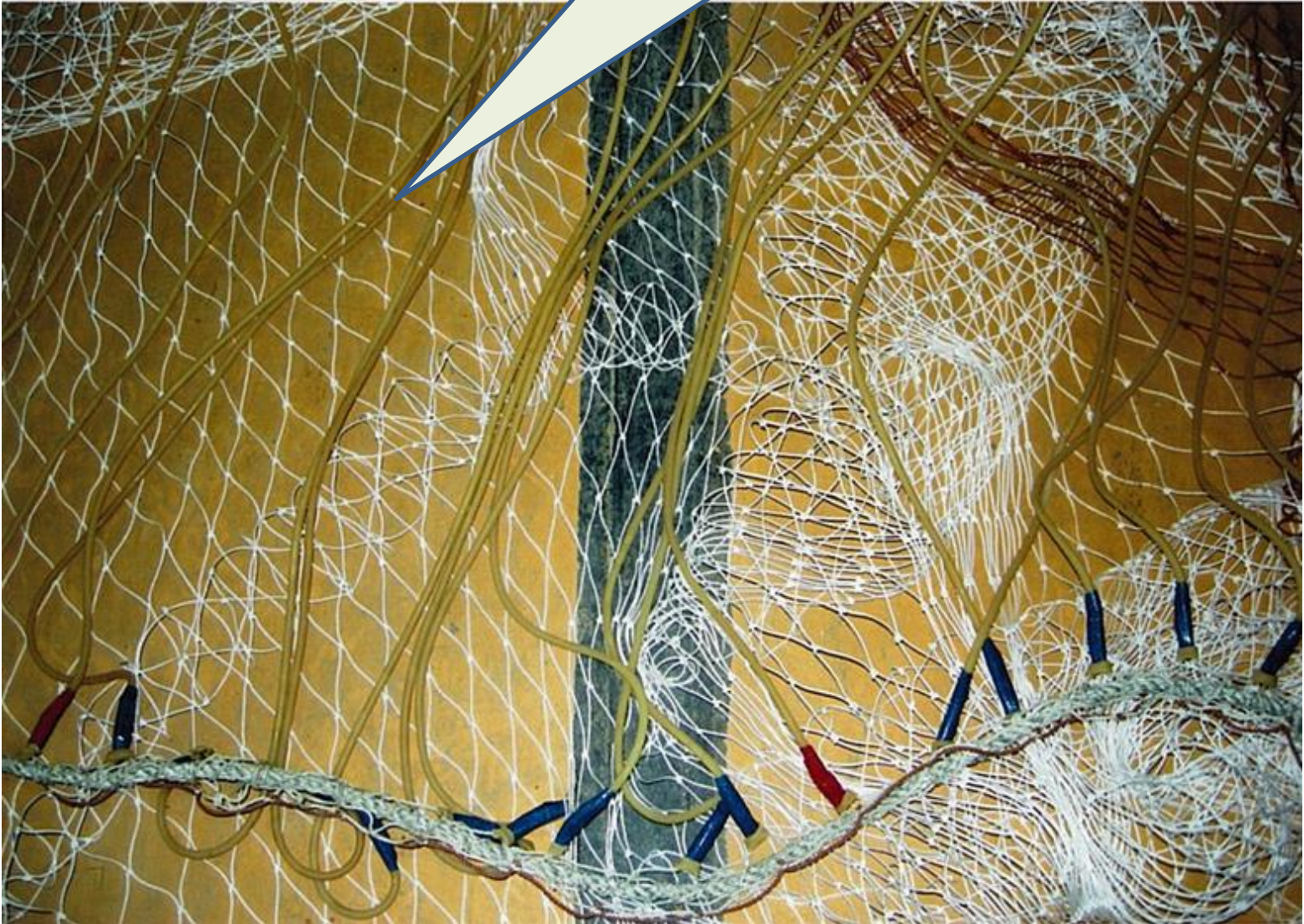
図3 排出口を下網に設けた底びき網 (図1) の改良型



クラゲ排出口 (網地を横方向に切り、浮子を取り付ける。)

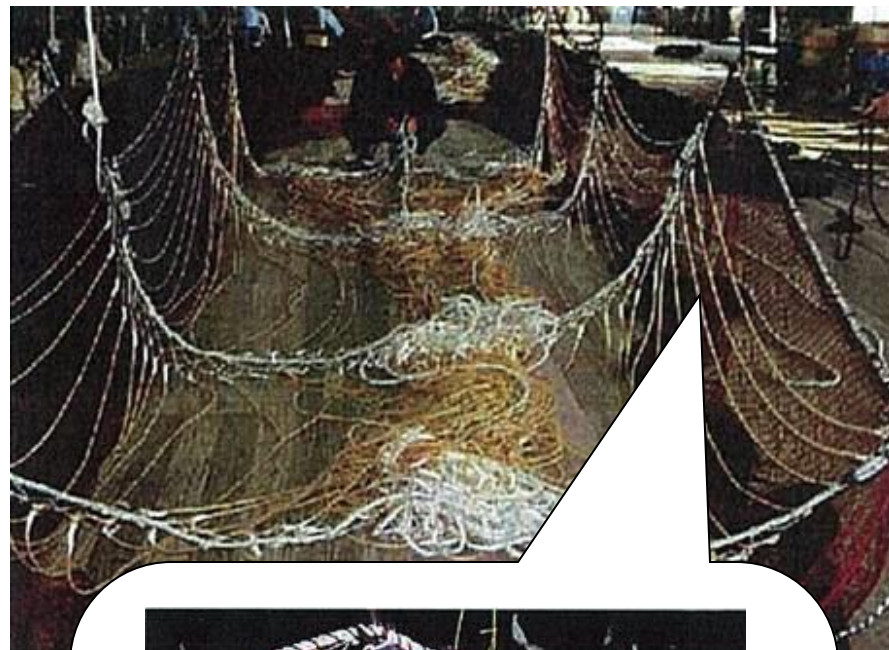
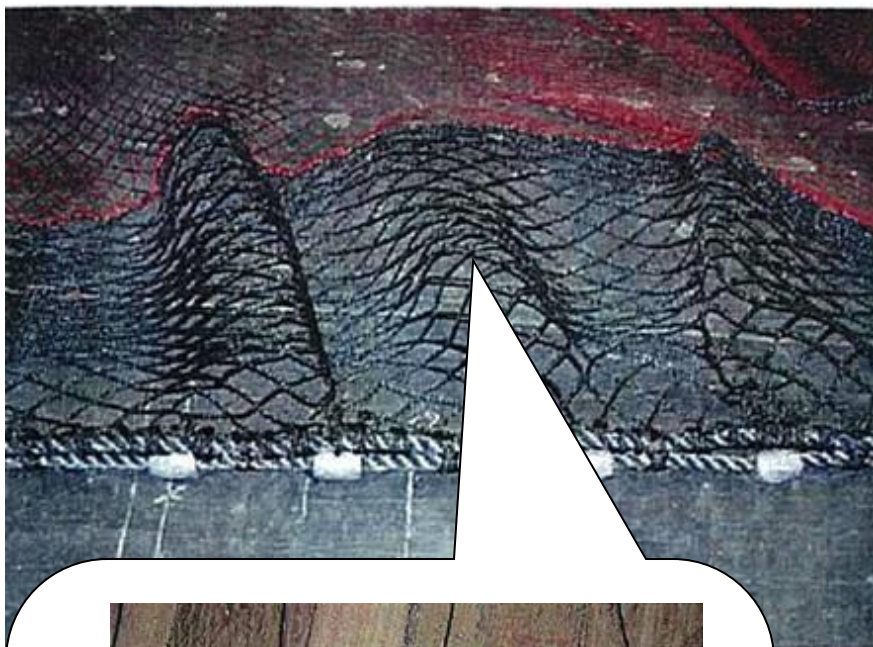
図2 上網に排出口を設けた底びき網

ゴムスリット部材





# まき網の漁具改良事例（JFまき網1）



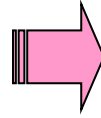
海中選別網部分



ゴムスリット部分

# 有害生物陸上処理事業

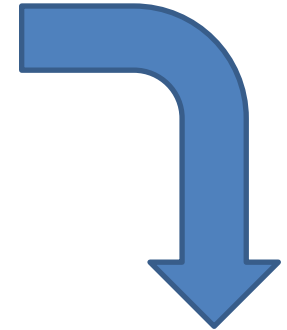
陸揚げされた大型クラゲの処理及び有効利用を行う。



## ○定額補助

- ・運搬経費(定額)
- ・処理または有効利用に要する経費(定額)
- ・処理用機材の導入経費(1/2以内補助)

【大型クラゲの陸上処理の例】



# 陸上処理 1



# 陸上処理 2



# 陸上処理 3



## 論点

### 有害生物漁業被害防止総合対策事業

1. 基金創設当初と比較し、大型クラゲの被害状況、発生予測の進展、他の有害生物に対する単年度事業での対応や近年の基金からの支出状況が変化していることを踏まえ、財政資金の効率的な活用の観点から、基金の在り方について、見直しを行うべきではないか。
2. 長期アウトカムについて、外部の影響要因に大きく左右される「漁獲量の回復」という指標だけでなく、「大型クラゲ大量発生時の対応体制の整備」など本事業の直接の効果を評価できるような指標を検討することはできないか。